

■歌詞を知って、演奏に役立てよう

A - ve Ma - ri - - - a! Jung - frau mild,
ア ヴェ マ リ - - - ア ユ ーングフラウ ミルトゥ
乙女 寛大な

er - hö - re... ei - ner Jung - frau Fle - hen.
エア ヘー レー アイ ナー ユングフラウ フリー エン
きいてください ひとりの 娘の 懇願を

aus die - - sem Fel - sen starr und wild
アウス ディー ゼム フェル ゼンシュタール ウントヴィルトゥ
から この 岸壁 堅く そして 荒々しい

soll mein Ge - bet zu dir hin - we - - - hen.
ソル マイン ゲ ベー トツデーアヒンヴィー - - - エン
(~ますように)わたしの 祈りを あなたに 届く

Wir schla - fen si - cher bis zum Mor - gen,
ヴィーア シュラー フェン ジッヒャービス ツーム モル ゲン
わたしたちは 眠る 安全に まで あした

ob Men - schen noch so grau - sam sind.
オップ メン シェンノッホ ソー グラーウザームズィントゥ
(だとしても) 人々が まだそれほど 残酷である

o Jung - frau, sieh der Jung - frau Sor - gen,
オー ユング フラウ スィー デアユング フラウソル ゲン
乙女よ みてください 娘の 心配事

o Mut - ter, hör ein bit - tend Kind!
オー ムツ ター ヘルアインビット テントキントゥ
聖母よ きいてください 懇願する 子を

A - ve Ma - ri - - - a!

◎冒頭は「アーヴェ・マリーア」。「嗚呼、ヴェマ・リーア」とか、「アーヴェマ・リーア」などとならないようにしたい。

◎「Ave Maria! Jungfrau mild,」までが一つのフレーズ。ここの装飾音は、32分音符程度の長さで。

◎「Flehen」のD音にフレーズの頂点を感じる。

◎「~Flehen, aus~」でフレーズが切れていることを意識したい。

◎「aus」から「hinwehen」まで、長いフレーズを感じたい。

◎「hinwehen」の装飾音は、リズムが鋭くならないように柔らかく演奏したい。

◎「Wir schlafen」のフレーズは、歌詞の内容と合致して、穏やかなメロディー、穏やかな和音になっている。ベースもFの保続音。

◎「grausam」を少し強調して、「sind」の暗い和音の響きを感じたい。

◎「Sorgen」に向かっのフレーズを大切に。

◎「Sorgen」の部分は、原曲譜では異なった書き方となっているが、実際に演奏されるリズムで記しておいた。

◎「Mutter」の装飾音は16分音符程度の長さで。

◎「bittend」のD音に付けられた「b」の響きを大切に。

(ここでは第1節のみをとりあげた)

●歌詞 (ドイツ語からの) 日本語訳 (第1節のみ)

アヴェ・マリア! やさしい乙女
一人の娘の懇願をおききください
この険しく荒々しい岩山から
わたしの祈りがあなたに届きますように
私たちは朝まで安らかに眠ります
たとえ人々がどんなに残酷であろうとも
おお乙女よ、この娘を祈り心配事をご覧ください
おお聖母様、嘆願する一人の子のことをおききください
アヴェ・マリア!

●〔参考〕原詩 (W.スコットの英詩) より第1節

Ave Maria! maiden mild!
Listen to a maiden's prayer!
Thou canst hear though from the wild,
Thou canst save amid despair.
Safe may we sleep beneath thy care,
Though banished, outcast, and reviled -
Maiden! hear a maiden's prayer;
Mother, hear a maiden's prayer;
Ave Maria!